

## 榎本鐘司 名誉教授 略歴・業績

## 略 歴

1952 年 11 月 24 日	愛知県に生まれる
1975 年 3 月	東京教育大学体育学部武道学科卒業
1977 年 3 月	東京教育大学大学院体育学研究科修士課程修了
1977 年 4 月	南山大学文学部助手（1979 年 3 月まで）
1979 年 4 月	南山大学文学部講師（1985 年 3 月まで）
1985 年 4 月	南山大学文学部助教授（1998 年 3 月まで）
1987 年 9 月	留学（イギリス）（1989 年 2 月まで）
1993 年 4 月	南山大学学生部次長（厚生担当）（1999 年 3 月まで）
1998 年 4 月	南山大学学生部長（2002 年 3 月まで）
1998 年 4 月	南山大学文学部教授（2000 年 3 月まで）
2000 年 4 月	南山大学人文学部教授（2017 年 3 月まで）
2004 年 4 月	南山大学共通教育主任（2006 年 3 月まで）
2006 年 4 月	南山大学教務部長（2008 年 3 月まで）
2017 年 4 月	南山大学体育教育センター教授（2019 年 3 月まで）
2019 年 3 月	南山大学退職
2019 年 4 月	南山大学名誉教授

## 学 会

日本武道学会会員（1975.5～現在に至る）  
 日本体育学会会員（1977.6～2019.3 まで）  
 スポーツ史学会会員（1989.12～2019.3 まで）  
 身体運動文化学会会員（1997.3～2019.3 まで）  
 スポーツ人類学会会員（1999.12～2019.3 まで）  
 スポーツ史学会理事（1995.4～1999.3 まで）  
 日本武道学会理事（2000.4～2017.3 まで）  
 日本武道学会評議員（2017.4～現在に至る）

## 業 績

## 〈著書〉

1. 『先生なぜですか』 武道編 [共著] (大修館書店, 1991/10) 202p.
2. 『スポーツ史講義』 [共著] (大修館書店, 1995/04) 271p.
3. スポーツ文化論シリーズ (6) 『スポーツコミュニケーション論』 [共著] (創文企画, 1995/07) 217p.
4. 『地域からの剣道史—江戸時代から昭和戦前までの西尾の剣道—』 [共著] (西尾市剣道連盟 (愛知県地方振興補助事業), 1997/10) 240p.
5. 教職研修総合特集 (読本シリーズ No. 151) 『子どもの対人関係能力を育てる』 [共著] (教育開発研究所, 2002/03) 244p.
6. 『剣道の歴史』 [共著] (財団法人 全日本剣道連盟, 2003/01) 625p.

7. 『ファシリテーター・トレーニング』[共著] (ナカニシヤ出版, 2003/06) 187p.
8. 『全日本剣道演武大会のあゆみー明治期にみる武徳祭大演武会ー』[共編著] (財団法人 全日本剣道連盟, 2004/05) 282p.
9. 『スポーツ学の冒険ースポーツを読み解く「知」とは』[共著] (黎明書房, 2009/03) 194p.
10. 『愛知県史 資料編 35 近代 12 文化』[共編著] (愛知県史編さん委員会, 2012/03) 1010p.
11. 『日本武道の武術性とは何か サピエンスと生き抜く力』[共著] (青弓社, 2020/06)

#### 〈学術研究論文〉

1. 「幕末剣術の変質過程に関する研究ーとくに田宮流窪田清音の剣術観を中心としてー」[単著]『アカデミア』人文・自然科学・保健体育編第 28 号 (1978/02) pp. 263-287
2. 「幕末剣術の変質過程に関する研究 (その 2)ー講武所の剣術教育とそこにおける剣術家の剣術理論を中心としてー」[単著]『アカデミア』人文・自然科学・保健体育編第 29 号 (1979/02) pp. 243-265
3. 「幕末剣術の変質過程に関する研究ー特に窪田清音・男谷信友関係史料及び一刀流剣術伝書類に見られる剣術の一変質傾向についてー」[単著]『武道学研究』13 巻 1 号 (1980/12) pp. 44-53
4. 「養勇流剣術の系譜および養勇流起請文資料の年次別整理」[単著]『武道学研究』第 14 巻第 3 号 (1982/03) pp. 24-32
5. 「天保一弘化期における諸藩の剣術流派ー『弘化 5 年 2 月諸国剣家姓名録』の検討ー」[単著]『アカデミア』自然科学・保健体育編第 1 巻 (1983/03) pp. 35-42
6. 「一流一藩武術流派形成に関する一考察ー養勇流伝書形成にみられる儒学の影響ー」[単著]『アカデミア』自然科学・保健体育編第 2 巻 (1984/11) pp. 21-33
7. 「文化文政期の西南地方における剣術他流試合の動向ー伊予史談会文庫『撃剣試合覚帳』の分析を中心としてー」[単著]『アカデミア』自然科学・保健体育編第 3 巻 (1987/03) pp. 1-19
8. 「東海地区大学卒業生の体育実技授業に関する意識調査ー全体、性別及び卒業年度別にみた意識についてー」[共著]『大学保健体育研究』7 巻 (1987/03) pp. 24-84
9. 「幕末剣道における二重的性格の形成過程ー競技性の顕在化および伝統性と競技性の折衷ー」[単著]『日本武道学研究』渡辺一郎教授退官記念論集 (1988/03) pp. 344-371
10. 「東海地区大学卒業生の体育実技授業に関する意識ー運動部経験者と未経験者の相違についてー」[共著]『大学保健体育研究』10 巻 (1990/03) pp. 1-14
11. 「東海地区大学卒業生の体育実技授業に関する意識ー受講学生、担当教師と卒業生の比較、および卒業生アンケート自由記述ー」[共著]『大学保健体育研究』10 巻 (1990/03) pp. 15-94
12. 「剣道における『掛声』の史的研究ー「武道史から武術史へ」のための序説ー」[単著]『スポーツ史研究』4 号 (1991/03) pp. 1-14
13. 「大学保健体育受講学生の授業に関する意識 (第 1 報)ー体育実技についてー」[共著]『大学保健体育研究』11 巻 (1991/03) pp. 1-53
14. 「大学保健体育受講学生の授業に関する意識 (第 2 報)ー昭和 54 年度と平成 2 年度受講生の体育実技についての意識変化ー」[共著]『大学保健体育研究』11 巻 (1991/03) pp. 54-73
15. 「大学保健体育受講学生の授業に関する意識 (第 3 報)ー運動部・文化部・無所属学生の比較ー」[共著]『大学保健体育研究』12 巻 (1992/03) pp. 1-38
16. 「大学保健体育受講学生の授業に関する意識 (第 4 報)ー大学保健体育科目の支持態度形成要因についてー」[共著]『大学保健体育研究』13 巻 (1993/03) pp. 1-40
17. 「剣道のルールと日本文化ー有効打突ルールと三審制をめぐってー」[単著]『体育の科学』44 巻 2 号 (1994/02) pp. 114-117
18. 「北信濃における無雙直傳流の伝承についてー江戸時代村落の武術と『境界性』ー」[単著]『スポーツ史研究』7 号 (1994/03) pp. 21-36

19. 「近世村落における武術史研究の現状と課題」[共著]『武道文化の研究』渡辺一郎先生古稀記念論集（1995/03）pp. 134-147
20. 「虚無僧の武術廻国修行について—寛延3（1750）年「一貫青山狭川先生仕合始末」をめぐって—」[単著]『武道学研究』29巻2号（1996/10）pp. 1-14
21. 「江戸時代の武士社会における武—平時における武の象徴性について—」[単著]『東海武道学雑誌』第2巻第1号（1998/01）pp. 1-7
22. 「江戸時代後期の信濃村落における武術伝播・受容の一形態—相澤陸朗武久の武術修行・立身・伝播活動から—」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編第71号（2000/03）pp. 259-297
23. 「戦後剣道復活過程における愛知県のスポーツ剣道について—「ジャパニーズフェンシング」の実態—」[単著]『東海武道学雑誌』第7・8巻（2005/12）pp. 17-36
24. 「講武所剣術方と上覧試合剣術—小川町講武所における試合剣術の変質について—」[単著]『アカデミア』自然科学・保健体育編第14巻（2008/01）pp. 1-14
25. 「戦後剣道復活過程における撓競技の創成および学校しない競技の成立について」[単著]『東海武道学雑誌』第9・10巻 合併号（2013/02）pp. 1-28
26. 「学校しない競技（1952-1957）とその用具（「しない」）の特性に関する一試論：撓競技と学校しない競技の比較」[共著]『東海武道学雑誌』第11巻（2016/02）pp. 15-28
27. 「痛みの評価スケールにもとづく剣道打撃時衝撃力の客観的評価：剣道正課授業への袋竹刀導入の試み」[共著]『東海武道学雑誌』第11巻（2016/02）pp. 29-45
28. 「袋竹刀の教具としての有用性—打撃時衝撃力の検証—」[共著]『東海武道学雑誌』第12巻（2017/12）pp. 17-27
29. 「江戸時代前期における四芸としての剣術の成立と撃剣の出現について—17世紀における兵法道場の勃興と兵法の分化—」[単著]『東海武道学雑誌』第12巻（2017/12）pp. 1-15